

「主に在る勝利」 —先週の講壇より—

「幸いな者、矢筒をこれらの矢で満たす男は。

町の門から敵を追い払うときも恥を受けることはない。」詩篇 127 : 5 【共同訳】

私はギターやベースなどの楽器を弾きますが、それは中学生の時から始めたものです。その中学生の頃、よく見た夢がありました。それは、コンサートにバンドで出場しているのですが、まったくギターが弾けないという夢です。その曲を練習しておらず、弾くことができないのにコンサートに出て、赤っ恥をかいているというもので、うなされながら目が覚めるといふ、こういう夢を何度も何度も見たことがありました。それはちょうどギターを弾き始めた頃で、いつかコンサートで演奏できるようになりたいという願いがありつつ、でもまだ全然弾けないという、そんな希望と現実が交差した時代ゆえのことなのでしょう。

練習をしなくては、楽器を弾けるようにはなりませんし、その状態でコンサートに出れば恥をかかなくてはなりません。そして今日の聖句の通り、もし武器を持たないで戦いに出たら勝利を得られるはずがないのです。

日曜の礼拝ごとに私たちは信仰という武器を身に付け、主の愛を握りしめて、日常の戦いに出て行く。そうでなくては、どうしてこの世の荒波に打ち勝つことができるのでしょうか。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



### 《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

### 《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

### 「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2024 年 10 月 20 日

# オレンジ郡 キリスト教会

礼拝 : 9時半~  
聖書の学び : 11時~



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ : www.occc.org



[教会年間聖句]

「主を仰ぎ見て、光を得よ」

詩篇 34 : 5

### ☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

ブレイク : 10:30-10:45

聖書クラス : 10:45-11:45

(現在第二と第四または第五週)

